



第16号



発行所
北海道高等学校
バレーボール専門部
発行責任者 藤原 正
編集責任者 石崎 賢
令和5年3月10日発行

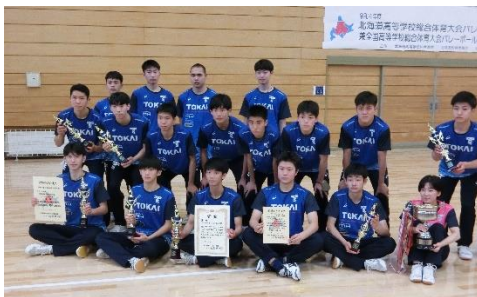
令和4年度 北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会

期日：令和4年6月14日（火）～17日（金） 当番校：北見北斗高校 新優勝旗⇒
会場：北海道立北見体育センター・サンライフ北見・北見市立体育センター・北見北斗高校



男子 優勝 東海札幌
準優勝 とわの森
第3位 札幌大谷
第4位 札幌藻岩

男子優勝：東海札幌高校



女子優勝：札山の手高校



女子 優勝 札山の手
準優勝 旭川実業
第3位 札幌大谷
第4位 旭川大高

【優秀選手賞】

山田 祐輝 3年 東海札幌
成田 陽介 3年 東海札幌
宮嶋 駿輝 3年 東海札幌
二川 颯斗 2年 東海札幌
田垣 遼大 3年 東海札幌
佐々木 一心 2年 東海札幌
沓澤 大地 2年 東海札幌
山田 健斗 3年 とわの森
伊藤 寛太 3年 とわの森
田岡 勇武 3年 とわの森
東小野 空 3年 とわの森
大西 晴 3年 札幌大谷
坂本 隼 3年 札幌大谷
菊池 脩真 3年 札幌藻岩

【優勝監督賞】

松田 修一 東海札幌

松崎 理沙 3年 札山の手
天野 恋 3年 札山の手
本田 花那 3年 札山の手
工藤 真帆 3年 札山の手
高橋 鈴 3年 札山の手
川嶋 琉姫 2年 札山の手
小松田 凧紗 2年 札山の手
佐々木 楓華 3年 旭川実業
岡田 奈々 3年 旭川実業
笠井 李璃 2年 旭川実業
今野 碧 3年 旭川実業
八木 胡桃 3年 札幌大谷
森脇 帆南 3年 札幌大谷
吉村 結 3年 旭川大高

【優勝監督賞】

渡邊 徹 札山の手

	ベスト8	ベスト16		1回戦		予選グループ戦	
男子	旭川実業	北見緑陵	帯広三条	函館工業		未来創造	大野農業
	旭川工業	札幌平岡	遠 軽			静 内	伊達開来
	恵庭南	北見北斗	釧路工業			根 室	
	科学大高	北 海	岩 緑 陵			豊 富	
女子	旭川龍谷	クラーク	静 内	天 塩	啓北商業	小樽双葉	釧路湖陵
	東海札幌	遠 軽	函 館 西	札幌北斗	七 飯	札 東 商	遺愛女子
	帯広南商	大谷室蘭	帯広大谷	稚 内		北見柏陽	北海道栄
	恵庭南	岩 緑 陵	中 標 津	国際情報		小樽潮陵	北見北斗



高体連プログラム

当番校：北見北斗



🌸 2022年度大会結果 🌸



◆ 第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会（春高バレー） 開催地：札幌市

期日：令和4年11月16日（水）～19日（土）

選手権大会

会場：北海道立総合体育センター（北海きたえーる）

プログラム⇒

		ベスト4	ベスト8	ベスト16			2回戦				1回戦		
男子	優勝	札幌大谷	釧路工業	根 室	帯広工業	岩 緑 陵	江 別	恵庭南	静 内	倶知安	未来創造		
	東海札幌		あすかぜ	札幌北陵	札幌啓成	函大有斗	遠 軽	滝 川	網走南丘	北広島西			
	準優勝	札幌藻岩	旭川工業	室蘭工業	釧 路 東	北見工業	深 川 西	室蘭清水	函館工業	豊 富			
	とわの森		科学大高	帯広農業	留 萌	啓北商業	旭川実業	富 良 野	北 海	苫小牧工			
		ベスト4	ベスト8	ベスト16			2回戦				1回戦		
女子	優勝	札幌大谷	帯広南商	とわの森	クラーク	静 内	名 寄	七 飯	遺愛女子	滝 川	札 東 商	旭川永嶺	遠 軽
	旭川実業		天 塩	函 館 西	北見柏陽	倶知安	小樽双葉	別 海	岩見沢東	啓北商業	苫 中 央	科学大高	富 良 野
	準優勝	旭川大高	帯広大谷	網走桂陽	白樺学園	室 蘭 栄	釧路北陽	旭川明成	釧路明輝	札幌白石	岩 緑 陵	稚内大谷	北海道栄
	札山の手		恵庭南	北見緑陵	大谷室蘭	旭川龍谷	東海札幌	北 海	札幌北斗	北 広 島	留 萌	国際情報	

◆ 第18回北海道高等学校バレーボール新人大会 開催地：岩見沢市・美唄市

初優勝

札幌藻岩

期日：令和5年2月3日（金）～5日（日）

会場：美唄市総合体育館・岩見沢市スポーツセンター・岩見沢市総合体育館



		ベスト4	ベスト8	ベスト16			1回戦				
男子	優勝	第3位	遠 軽	静 内	網走南丘	旭川実業	深川西	留 萌	小樽桜陽		
	札幌藻岩	札幌大谷	北 広 島	北見緑陵	札幌新川	苫小牧工	札幌西陵	滝 川	別 海		
	準優勝	第4位	岩 緑 陵	稚内豊富	旭川工業	富 良 野	江 別	室 蘭 栄	釧路高専		
	東海札幌	とわの森	北 海	白樺学園	科学大高	倶 知 安	岩見沢東	函館工業	恵庭南		
		ベスト4	ベスト8	ベスト16			2回戦				1回戦
女子	優勝	第3位	中 標 津	東海札幌	市立函館	北見柏陽	とわの森	旭川龍谷	網走桂陽	岩 緑 陵	
	旭川実業	札山の手	旭川大高	札 東 商	釧路北陽	滝 川	名 寄	倶知安	北海道栄	遠 軽	
	準優勝	第4位	恵庭南	札幌北斗	稚内大谷	室 蘭 栄	国際情報	小樽双葉	静 内	富 良 野	
	札幌大谷	クラーク	岩見沢東	白樺学園	旭川明成	留 萌	遺愛女子	啓北商業	帯広南商		



選手権大会
3年ぶりの有観客



男子優勝 東海札幌



女子優勝 旭川実業



🍡 全国大会の結果 🍡

◆ 令和4年度 第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会（春高バレー）



とわの森三愛7年ぶりの出場 2回戦進出

- 【男子】 1回戦 とわの森三愛2（23-25、25-16、25-19）1高知（高知）
 1回戦 東海大札幌0（22-25、23-25）2崇徳（広島）
 2回戦 とわの森三愛0（21-25、13-25）2東山（京都）
- 【女子】 1回戦 旭川実0（23-25、19-25）2鹿児島実（鹿児島）
 2回戦 札幌山の手0（16-25、14-25）2城南学園（大阪）

◆ 令和4年度 躍動の青いカ 四国総体 2022 燃え上がれ我らの闘志四国の大地へ

女子：期日：令和4年7月28日（木）～8月1日（月）開催地：徳島県 徳島市・鳴門市・北島町
 男子：期日：令和4年8月3日（水）～8月7日（日）開催地：香川県 丸亀市・善通寺市・三豊市

【男子】

東海札幌 緊張しながらも予選グループ戦突破
 予選グループ戦

- 東海札幌1（23-25、25-21、18-25）2西原（沖縄）
 東海札幌2（25-20、25-22）0金沢商（石川）

決勝トーナメント2回戦

- 東海札幌1（26-28、25-21、19-25）2近江（滋賀）

【女子】

女子はともに決勝トーナメント進出

予選グループ戦

- 札山の手0（20-25、15-25）2三重（三重）
 札山の手2（34-32、25-21）0宇都宮文星女（栃木）
 旭川実業2（25-23、25-19）0開智（和歌山）

決勝トーナメント1回戦

- 札山の手0（15-25、16-25）2三重（三重）

決勝トーナメント2回戦

- 旭川実業0（20-25、20-25）0東九州龍谷（大分）



香川県男子
 プログラム⇒



徳島県女子
 ⇐ プログラム

令和5年度 北海道インターハイについて

轟かす魂の鼓動 北の大地へ大空へ



釧路女子ポスター



旭川男子ポスター



令和5年度 全国高等学校総合体育大会競技会場および日程（予定）

競技種目	競技会場	8月											
		7月31日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日
バレーボール 女子	○競技種目別開会式												
	●競技												
バレーボール 男子	◆競技終了後閉会式												
	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	※	○	●	●	●	◆						
バレーボール 男子	釧路町総合体育館	※	※	●	●								
	道北アークス大雪アリーナ							※	○	●	●	●	◆
	旭川市リアルター夢りんご体育館							※	※	●	●	●	
	志和公園体育館							※	※	●			

令和4年度 国民体育大会 バレーボール少年 北海道選抜チーム

【少年男子】					
監督	松田 修一				東海大札幌
コーチ	辻 克典				科学大高
マネージャー	山内 隆宏				北海
背番号	氏名	学年	身長	学校名	
1	山田 祐輝	3	193	東海大札幌	
2	天坂 蓮	3	185	科学大高	
3	二川 颯斗	2	184	東海大札幌	
4	沓澤 大地	2	184	東海大札幌	
5	松井 陽輝	2	201	旭川工業	
6	佐々木 柊汰	3	182	札幌藻岩	
7	山田 健斗	3	180	とわの森	
8	成田 陽介	3	180	東海大札幌	
9	菊地 修真	3	181	札幌藻岩	
10	宮嶋 駿輝	3	178	東海大札幌	
11	田垣 遼大	3	175	東海大札幌	
12	佐々木 一心	2	170	東海大札幌	

【少年女子】					
監督	渡邊 徹				札幌山の手
コーチ	藤盛 竜太				岩見沢緑陵
マネージャー	村上 惇嗣				東海大札幌
背番号	氏名	学年	身長	学校名	
1	松崎 理沙	3	171	札幌山の手	
2	天野 恋	3	171	札幌山の手	
3	本田 花那	3	170	札幌山の手	
4	工藤 真帆	3	167	札幌山の手	
5	高橋 鈴	3	160	札幌山の手	
6	荒川 遥葵	2	169	札幌山の手	
7	黒田 百花	2	172	札幌山の手	
8	小松田 凧紗	2	169	札幌山の手	
9	高橋 瞳衣	1	163	札幌山の手	
10	吉田 芽	1	163	札幌山の手	
11	川嶋 琉姫	2	180	札幌山の手	
12	森脇 帆南	3	172	札幌大谷	

令和4年度 全国高校選抜候補第一次合宿高校長身者発掘育成合宿（北海道ブロック合宿）指名選手

男子参加者名簿

番号	氏名	学年	身長	学校名
1	松井 陽輝	2	201	旭川工業
2	淀川 龍正	2	193	科学大高
3	高野 虹煌	2	189	小樽未来創造
4	若林 東吾	2	188	札幌新川
5	大橋 侑弥	2	188	網走南ヶ丘
6	蔵原 陽太郎	2	187	札幌西陵
7	佐藤 ラニ海	1	187	科学大高
8	西森 公志	2	186	札幌大谷
9	廣瀬 千暁	2	185	岩見沢緑陵
10	鈴木 悠太	1	185	札幌北陵
11	奥山 尚	2	184	札幌藻岩
12	沓澤 大地	2	184	東海札幌
13	二川 颯斗	2	183	東海札幌
14	田中大斗	2	183	札幌大谷
15	野村 優太	1	183	札幌藻岩
16	藤盛大貴	1	183	札幌大谷
17	吉田 壮希	2	182	東海札幌
18	林 条生安	1	182	札幌藻岩
19	本田 隼都	1	182	科学大高
20	福井 晴和	1	181	旭川実業
21	加納 匡孝	1	181	科学大高
22	木村 綜太	2	176	とわの森
23	佐藤 優成	2	175	東海札幌
24	山本 秀惺	2	170	札幌藻岩

女子参加者名簿

番号	氏名	学年	身長	学校名
1	山田 帆乃香	1	180	札幌山の手
2	川嶋 琉姫	2	179	札幌山の手
3	新開 未菜	2	178	札幌北
4	高倉 涼	2	176	旭川実業
5	ワルゼン ベロニカ	2	176	札幌啓成
6	佐子 桜徠	2	176	旭川藤星
7	笠井 季璃	2	175	旭川実業
8	草深 璃々	2	174	札幌北斗
9	高橋 佑芽	2	174	札幌大谷
10	東 花歩	2	173	士別翔雲
11	奥村 真奈	2	173	白樺学園
12	工藤 夏渚	1	173	札幌大谷
13	小林 史果	1	173	旭川実業
14	山保 ななみ	1	173	旭川大高
15	丸山 桐果	2	172	小樽双葉
16	宇佐見 春奈	2	172	帯広大谷
17	黒田 百花	2	171	札幌山の手
18	松原 京香	2	171	札幌北斗
19	戸澤 結	2	171	札幌月寒
20	高橋 咲瑛	1	171	札幌大谷
21	飯田 遙香	1	171	札幌大谷
22	金川 羽菜	2	170	東海札幌
23	井関 芹花	2	163	旭川実業
24	吉田 芽	1	162	札幌山の手



北から南から

函館西高等学校

女子

バレーボール部

『熱烈峻厳』

～情熱を傾け、妥協を許さ

ない厳しさを持つこと～

本校は、明治38年に北海道庁立函館高等女学校として開校し、昭和23年に北海道立函館女子高等学校と改称。その後、昭和25年、男女共学の北海道函館西高等学校となり、110数年の歴史を刻んできました。

平成31年、道教委の公立高等学校配置計画の再編整備により、函館稜北高校と統合され、第4代目となる「北海道函館西高等学校」（6間口）として新たな船出を致しました。遠くは駒ヶ岳、眼下に函館港や市街（夜景）を一望できる自然豊かな函館山の麓に位置しています。周辺にはハリストス正教会やカトリック元町教会、旧公会堂をはじめとする歴史的建造物が立ち並ぶ閑静で落ち着いた教育環境にあります。

《校訓》 “志高く 未来を創る”

《部訓》 『熱烈峻厳』～情熱を傾け、妥協を許さない厳しさを持つこと～

《目標》 1 全道ベスト4そして全国大会出場！

～強豪私立高校に果敢に挑み、北海道の勢力図を塗り替え、道南のバレーボーラーの希望になる！

2 技術・体力の向上と精神力の強化を通して、社会性の育成・人間性の向上を目指す。

～普段の練習はもとより、大会、合宿、遠征等を通して、新たな人との出会いによって、様々な価値観に触れ、自らの人間性の向上を目指す！

3 自己の可能性への挑戦！

～部活動、学習に限らず、あらゆることに限界をつくらず、とことん追求していく！

体育館で練習できるのは平日1時間半、休日3時間と限られています。体育館が使える時間まで基礎体力の向上に励み、体育館ではあらゆる場面を想定したゲーム形式中心の練習をし、相手に対応する力を身に身に付ける練習を繰り返しています。その中で、妥協することなく、自分の可能性を追い求め続けています。

【過去の戦績】

《高体連》平成23年に59年ぶりに全道出場、翌24年に62年ぶりの優勝をしてから30年まで7連覇。今年度も優勝し11大会連続全道大会出場。

《選手権》平成23年に初優勝し、30年まで8連覇。昨年度、今年度と連覇し、12年連続全道大会出場。

《新人大会》平成23年に初優勝。11年間で6度の優勝、8度全道大会出場。

選手権全道大会をもって3年生が引退し、現在は2年生6名（含マネージャー1名）で活動しています。新人大会は、同じく選手5名の七飯高校と合同チームを組みましたが、大会前日までにレギュラー4名のインフルエンザ感染が判明。ギリギリ6人で挑むも予選リーグ戦で敗退し、全道大会への道は閉ざされました。現在は、来年度の新1年生の入部を心待ちにしながら、日々練習に取り組んでいます。

北海道函館西高等学校

女子バレーボール部

顧問

滝沢 輝久



帯広大谷高校バレーボール部 「繫球烈打」

「とにかくボールを拾って、繋いで、みんなの思いを背負って打つ！」

帯広大谷高校は、親鸞聖人ご生誕750年にあたる1923（大正12）年、「親鸞聖人の御教え」を建学の精神として、真宗大谷派帯広別院および十勝管内の真宗大谷派寺院の方々のご尽力により、帯広大谷女学校として創立されました。その後、短期大学、幼稚園を併設し、1993（平成5）年、男女共学へ移行し、2023（令和5）年には創立100周年を迎えます。本校は、「親鸞聖人の御教え」を教育理念に、人として「いのち」をいただき、多くのご縁によって支えられていることに感謝し、一人一人の個性を伸ばし、価値観の多様化する時代において逞しく生きていける力、社会に貢献できる人となるべく生徒・教職員ともに、日々色々なことにチャレンジしています。また、部活動も盛んで、多くの部活動が全道・全国大会に出場し活躍しています。

私たちバレーボール部は、現在3年生4名、2年生11名、1年生5名の合計20名で活動しています。一人一人がチームにとって必要な存在であり、学年分け隔てなく競い合い、励まし合いながらそれぞれの力が発揮できるチームであることを基本にしています。私たちはチームスローガンである「繫球烈打」をモットーに、「とにかくボールを拾って、繋いで、みんなの思いを背負って打つ！」という気迫のバレーボールで多くの勝利をつかんできました。また、バレーボール以外のことにも積極的に取り組み、厳しい中にも明るさとやさしさがあり、ここ！という時に自分の最高のプレーをするために心と体の両面を鍛え、みんなで勝った時の喜びを全員で分かち合うために日々の練習を頑張っています。

これから更に飛躍していくため、多くのチームの皆さんと練習ゲームや試合を通じて学ばせていただき、全道トップを目指して頑張りたいと思います。

帯広大谷高等学校バレーボール部 監督 小田桐 友 輔
コーチ 山 川 和 絵



平成26年度からの北海道協会高校登録数の推移

協会名	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	回地	10 苫小牧	11 帯広	12 室蘭	13 釧路	14 函館	15 千歳	16 北見	17 小樽	18 岩見沢
函館	男	11	12	11	13	11	11	10	10	10
	女	21	23	21	21	17	18	16	15	13
後志	男	3	2	4	3	4	2	3	3	2
	女	5	4	5	4	5	3	3	3	3
小樽	男	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	女	5	5	5	5	4	6	4	5	4
室蘭	男	6	6	6	6	6	6	6	5	6
	女	9	9	9	9	9	8	8	8	8
苫小牧	男	4	4	3	4	4	3	3	3	3
	女	8	8	7	7	7	7	7	7	7
日高	男	3	3	3	3	3	3	1	1	1
	女	5	5	5	4	3	3	5	5	4
札幌	男	37	33	35	32	35	33	34	34	34
	女	51	49	50	49	50	47	46	45	45
江別	男	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	女	5	5	5	4	4	4	4	4	4
千歳	男	6	5	5	6	6	6	6	6	6
	女	6	4	4	5	5	5	5	5	5
岩見沢	男	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	女	6	6	6	8	8	8	6	6	5
美唄	男	0	0	0						
	女	3	2	2						
滝川	男	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	女	3	3	3	3	3	3	3	3	3
深川	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	女	2	2	2	2	2	2	2	2	2
留萌	男	0	0	0	0	0	1	1	1	1
	女	2	2	2	2	2	2	2	2	2
富良野	男	3	3	3	3	3	3	2	1	3
	女	2	2	2	2	2	2	1	2	2
東空知	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1
旭川	男	11	10	9	9	11	11	11	11	11
	女	15	14	12	13	13	14	13	12	13
名寄	男	0	0	0	0	1	2	2	0	0
	女	5	5	5	5	5	5	5	4	4
稚内	男	3	3	3	3	3	3	2	3	4
	女	7	5	6	6	6	5	5	5	5
紋別	男	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	女	5	5	3	3	3	3	3	3	3
北見	男	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	女	8	8	8	8	7	7	7	7	8
網走	男	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	女	3	2	3	3	3	3	3	3	3
帯広	男	5	5	5	5	5	5	5	5	6
	女	14	14	13	12	13	13	14	12	13
釧路	男	5	5	4	5	5	5	5	6	6
	女	9	10	9	10	10	9	8	8	8
根室	男	3	3	3	2	2	2	2	2	2
	女	5	5	5	5	4	3	3	3	3
出場数	男	31	30	30	30	32	33	32	31	32
	女	38	38	38	38	36	36	36	36	36
								中止		

選手権大会・新人大会については協会登録数によって全道大会出場枠が決まります。左の表は過去9年間の協会登録数をまとめたものですが、生徒数の減少と高校数の減少により次第に登録数が減少傾向にあることがわかります。特に函館協会の減り方は著しいようです。高校バレー人口では全国的には女子部員数は減少していますが男子部員数は増加傾向にあります。

2023年度の北海道インターハイでは北海道女子が200チームを下回って3年が経過し1年の猶予期間を経て枠が1減となりました。開催地枠があり男女とも2チーム出場ですが、2024年度からは男女とも1枠となります。

今後の課題は高体連や新人大会の試合形式や新人大会出場枠などのほか、すでに中学校で始まりつつある、クラブチームの参加が数年後には高校にもやってきます。社会の変化と北海道高校バレーボール人口の減少にどう対応していくか大きな転換期となりました。

令和5年度全国高等学校総合体育大会

イコウ-ハイ

魂の鼓動 北の大地へ大空へ



開催期間 / 2023年
7|22(土)・8|21(月)

総合開会式
2023年7月22日(土) 北海きたえーる(札幌市)



北海道での開催は
36年ぶり



翔び立て若き翼
北海道総体 2023



インターハイ
マスコットキャラクター
「ウイニくん」

競技種目	日程	会場地(市町)
総合開会式	7/22	
陸上競技	8/2~8/6	
体操(体操競技)	8/2~8/5	
体操(新体操)	8/10~8/12	
水泳(水球)	8/17~8/20	
バスケットボール	7/24~7/30	札幌市
卓球	8/8~8/13	
バドミントン	8/16~8/21	
柔道	8/8~8/12	
レスリング	7/27~7/30	
弓道	8/3~8/6	
ボクシング	7/29~8/4	
水泳(競泳)	8/17~8/20	江別市
ホッケー	7/28~8/2	千歳市
なぎなた	8/4~8/7	恵庭市
空手道	7/26~7/29	
ソフトボール(女子)	7/26~8/1	石狩市
ソフトボール(男子)	8/4~8/8	
フェンシング	8/2~8/6	室蘭市
ソフトテニス	7/22~7/29	苫小牧市
テニス	7/31~8/7	

競技種目	日程	会場市(市町)
ハンドボール	7/25~7/31	
自転車競技(トラック)	8/5, 8/7~8/9	函館市
自転車競技(ロード)	8/6	
相撲	8/4~8/6	北斗市
バレーボール(男子)	8/7~8/11	
サッカー(男子)	7/28~8/4	旭川市
少林寺拳法	7/21~7/23	
ウエイトリフティング	8/10~8/14	士別市
		東川町
		上川町
		美瑛町
		上富良野町
ボート	7/27~7/31	網走市
サッカー(女子)	7/25~7/30	
剣道	8/3~8/6	帯広市
アーチェリー	8/9~8/10	
バレーボール(女子)	8/1~8/5	釧路市 釧路町
カヌー	8/2~8/6	山越町
水泳(飛込)	8/17~8/19	稚内市 平取町
ヨット	8/12~8/16	札幌市 洞爺湖町

(R4.12.6時点)

- 主催：公益財団法人全国高等学校体育連盟
北海道、北海道教育委員会、山形県、山形県教育委員会、栃木県、栃木県教育委員会、和歌山県、和歌山県教育委員会
関係中央競技団体(競技種別別大会は会場地市及び関係教育委員会を全て)
- 共催：読売新聞社
- 後援：スポーツ庁、公益財団法人日本スポーツ協会、日本放送協会
- 主幹：公益財団法人全国高等学校体育連盟競技専門部、関係県高等学校体育連盟、関係関係競技団体

北海道実行委員会 事務局 北海道教育庁学校教育課高学総体推進課
〒060-8544 北海道札幌市中央区北3条西7丁目 電話:011-206-9812 FAX:011-232-1296
公式ホームページ <https://www.koukousoutai.com/2023soutai/>



北海道実行委員会
公式SNS



Twitter



1584 2023082222
Instagram



YouTube